三田で見たこと「教え育てる」原点を

都立八潮高等学校長　牛島　倫子

昭和六十一年四月から平成二年三月までの四年間、三田にお世話になりました。僅か四年間でしたが、定時制は初めてでしたし、数々の貴重な体験をさせていただきました。藤川侃二校長と内藤伸教頭、次に依田好雄校長と若林明弘教頭の二代の校長・教頭にお仕えし、素晴らしい先輩や同僚の方々と共に定時制教育に携われた事は、私の生涯の中で最も特筆すべきことです。

アルバイトではあっても働きながら〝学ぼう〟とする若者や中学を卒業して一度社会へ出てから再び〝学ぶ必要〟を感じて戻った成人の方々、生徒の一人ひとりが何らかの事情を抱きながら共通した「強い意志」を持って毎夜、通学していたことに感動致しました。教師もその一人ひとりの事情や境遇を充分把握し個別指導に重点が置かれました。信頼関係が出来てはじめて「教え育てる」ことの原点を見た思いでした。

平成元年の秋に創立六十周年の記念誌を編集するに当り、三田（定）の歴史を知り、同時に定時制教育の必要性を痛感致しました。

社会の変化と共に定時制教育の是非が問われていますが私は声を大にして存続を訴え続けたいと思います。益々のご発展を祈念します。

ともかきに寄せて

鈴木　一正

私が三田高校に在職したのは、昭和五十二年四月から五十四年三月までの二年間です。ちょうど新校舎が完成したばかりの時でした。長谷部正治校長先生をはじめ、久保道雄教頭先生や中村十成先生、石関力太郎先生等々、職員の皆さんが定時制教育に情熱を燃やされる中に赴任し、働きながら学ぶ意気盛んな生徒に交わって、楽しく過ごした日々でした。

私は、水泳指導が得意でしたので温水プールを活かし、水泳を体育授業の中核に据えました。生徒の中には仕事の後の風呂代わりに泳ぐものもいましたが、誰もが水泳を好きになり、着任して設置した水泳部も、四か月後の高等学校体育連盟定通部会の都大会で女子が優勝の栄冠を得るほどでした。他校にない温水プールという恵まれた条件と、一年のうちほぼ七か月を週一時間水泳の授業に当てた成果です。

このような三田高校に定年までと思い赴任したものの、定時制教頭を命じられたことで二年間で異動することになってしまったことは後ろ髪を引かれる思いでした。

さて、働きながら学ぶことは、学習体験と勤労体験が一体となって歩むにほかなりません。そこには、「共に生きる心」「未来を創造する夢」が生徒の真摯な生き方となって輝きを見せていました。戦後五〇年を迎えた今、歩み来た道を顧みますと、その歴史の中で果たした定時制教育の役割は高く評価されるものです。青葉会総会に参加するたびに卒業生の活躍ぶりや幸せな様子にふれ、その感を強くします。

しかし、今日のわが国教育情勢に目を向ける時、定時制教育はその役割を終えたとの声が聞かれます。一方で、教育の在り方がこれでよいのかと厳しく指摘される状況でもあります。私は、真に個性豊かな人間を形成する新しい教育の確立には、定時制教育の理念を、改めて教育の中核の一つにしっかりと位置づけなければならないと考えます。

そのことに関して、今春ご着任の岡本裕之校長先生は、共に定時制教育の振興に努めてきた間柄で、そのお人柄はよく存じ上げておりますが、新しい教育の確立の上に立派な指導性をお持ちです。また、現在、校長会をはじめ全国高体連理事長や諸研究団体の要職を担ってご活躍の有能篤実な校長先生として、青葉会、並びに三田高校の発展の上でも、またとないご着任とお喜びする次第であります。

私は昨年三月、練馬高校長を最後に定年を迎え三十九年間にわたる教職生活に別れをつげました。その間、三田高校も含め三十年間を定時制教育にたずさわって来たわけです。それを誇りとし、働きながら学ぶ素晴らしさを信条に、これからの人生に活かして歩みたいと、未経験の世界を選んで、昨春から、財団法人・東京都公園協会にお世話になりました。広報を担当しておりますが、人々の暮らしの中に潤いを与え、安らぎをもたらし、憩いや健康の場を提供する仕事の、強力な推進力となるよう頑張っております。

終わりに、皆さんの益々のご健勝ご多幸と青葉会や三田高校、そして定時制教育の一層のご発展を心からお祈りいたします。

（保健体育　昭和五十二年四月～五十四年三月）

諸先生のおたより

○片山恒雄（化学）39～48
横浜市港北区日吉本町四―一〇―一六―四〇一
「ともかき」青葉会便りが来る度に三田高時代を懐かしく思い出して居ります。私の教員生活の中で、あの頃が一番楽しかったナー。
私事ですが二年前に母を亡くし、今一人で私なりに人生を楽しんで居ります。皆様のご健康・ご多幸を祈ります。

○吉田元定（校長）46～50
武蔵野市境南町五―一二―三
最近体調を崩し、折角の会に失礼しています。
この十月一日（都民の日）に満八十才を迎えました。八十の坂を登るのは、なかなか大変だなあとしみじみ思いながら、傘寿ということばを素直に受け取って一日一日を大切にしていきたいと思います。
三田の定時制で苦楽を共にした人々がそれぞれの道を進みつつ、その集いがいつまでも続くよう祈っています。

○松田正義（国語）
大分市二ヶ田町三
出席できませんがご盛会の程お祈り申し上げます。
私は昨今、桜楓社から〝方言生活30年の変容〟という本を出し、それが計らずも「新村出賞」を頂きました。只今その姉妹篇を執筆しておりますが高齢なために筆が進みません。

○長谷部正治（校長）50～54
青葉会のご案内を有難うございました。切角のお招きですが、小生あいにく健康検査の期間にあたり残念ながら欠席いたします。青葉会諸兄姉のご発展をお祈り致します。

○久保道雄（教頭・理）51～57
千葉市稲毛区小仲台
一―五―一二―一〇〇九
ご案内頂きありがとうございました。今月は息子の結婚式を控え、残念乍ら欠席します。悪しからずご盛会を祈ります。